

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0502047

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15 環境の保全	事業優先度	B	
単位施策	3 景観形成・環境美化・公害防止の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	老人福祉施設等解体事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	解体施設数		11 町有施設整備室	
事業目標	1施設	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	老朽した施設の解体・撤去					沢木寿の家解体工事	
	事業費(千円)	3,000	0	0	0	3,000	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	3,000				3,000	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,576	0	0	0	2,576	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	2,576				2,576	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連 (継続無し) (非登載事業)	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1施設
		年度達成率	0%	0%	0%	0%	86%
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	86%	

事業名	老人福祉施設等解体事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	磯田昭次

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	老朽した空き施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	解体施設数								
【抱える課題やニーズは】	他用途で活用するには相当の改修経費が必要になる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	解体工事を実施し更地にすることで、周辺環境や危険性に考慮した。	① 解体施設数	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1施設</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1施設</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1施設	実績値	1施設	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1施設										
実績値	1施設										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を表現したいか】 ※成果=目的	更地となった町有地の活用方法を模索する。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	解体工事の実施	沢木寿の家解体工事を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	老朽した空き施設が既存していることは、危険性もあり、周辺環境にも好ましくないため、解体工事を実施し、更地とした。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要あり/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	老朽した空き施設が撤去され、更地になったことで危険性がなくなった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札執行し適正価格で工事を発注した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	効率的/概ね効率的/課題あり	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	更地の有効活用について、検討を重ねることができる。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	公平/概ね公平	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
老朽した空き施設が撤去され、所期の目標が達成された。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
予定していた施設解体工事が完了した。		

※展開方向の区分